

Influence of interstitial solute atom on fatigue crack growth resistance in austenitic and ferritic steels

ハビブ, キシャン

<https://hdl.handle.net/2324/1959131>

出版情報 : Kyushu University, 2018, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :



氏 名	Kishan Habib			
論 文 名	Influence of interstitial solute atom on fatigue crack growth resistance in austenitic and ferritic steels			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	野口 博司
	副 査	九州大学	教授	津崎 兼彰
	副 査	九州大学	教授	戸田 裕之

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、オーステナイトおよびフェライトを主相とした種々の適切なモデル鋼の疲労試験を行い、疲労き裂の伝ば挙動解析、破面のフラクトグラフィ解析、破面真下の電子線後方散乱回折法による組織解析、さらに停留き裂先端の電子チャンネリングコントラス解析を用いた疲労メカニズムの検討を通して、侵入型固溶元素によって疲労き裂伝ば特性が大きく変化する可能性を示したものである。著者が示した成果は、機械工学上寄与するところが大きい。よって本論文は博士（工学）に値するものと認める。